

沖縄県振興審議会議事要旨

【離島過疎地域振興部会】

第4回 平成22年4月28日(水)

総括的意見

離島の政策を実施するための哲学とか理念とか意義だとか振計にはない。離島の政策は沖縄にとってどう重要なのか。次の振計に入れていかないといけないのでは。国土の維持管理や海洋基本法などでは、離島の重要性に触れているのも出てきている。

分野別意見

1 産業の振興

4次振計まで産業分野にどれだけ投資したか、その投資によって産業の生産がどれだけ上がったか、数値を入れないと点検にならない。

分蜜糖と含蜜糖について、買い上げの制度が異なっているため、国の制度を同様にしよう要請することが必要。

2 交通、情報通信基盤の整備

離島交通のリンク、アクセスの問題について、島々への玄関がどこなのかをもう一度考え直すべき。それぞれの離島へ出発する船やターミナルビル等の管理がその島でできない。離島側と港湾を管轄する市町村との調整が必要。運天港は伊是名島、伊平屋島への航路はあるがそこに連結するバスがない。これは沖縄本島の問題だが島にとっては重要な問題。

3 保健医療の確保と福祉の向上

本島の介護保険の公的なサービスはほぼ充実しているが、離島に行くにつ

れてサービスがなくなっている。

離島の一番の問題は過疎化、高齢化。活性化と言うが、そういうことがイメージできてるのか。本当にできるのか。日本全国どこでも現実には出来ていないのでは。この辺の議論が整理されないと離島は活性化しない。福祉保健部会は離島の問題をもう一度考えないといけない。離島の医療をどう考えるのか、県全体で考えた方がいいのでは。

4 教育及び地域文化の振興

(1) 学校教育について

離島の高校進学や島外派遣の問題について、重要な課題だと思うが振計の中になく、総点検には書いてある。新しい課題を書くのは賛成だが、新しい課題についての調査や分析が必要。できるだけ実態を把握して、それが本当に課題なのか裏付けをもって課題として出してほしい。

30人学級については全県的な問題。離島においては逆に複式学級の解消や小規模校の閉鎖統合の問題がある。

(2) 地域文化の振興等

離島や過疎地域に残る文化の継承、これが哲学になると思う。自治会、公民館等が中心となり、地域の伝統文化や祭祀を各離島や過疎地域で引き継ぐことが地域の哲学や地域を愛するということにつながる。

(3) その他教育全般

総点検の悪いところだが、教育あるいは生涯学習施設に関して、施設主義であり、施設を整備すれば終わり。生涯学習活動を支援するかソフトプログラムを充実するという言葉もある。生涯学習プログラムがいくつあるのか、図書館の冊子数、利用状況といったソフト面の指標を出して点検状況をはかり、生涯学習がどれだけ振興発展したか追わなければならない。なぜ生涯学習プログラムが発達しないのか、冊子数が伸びないのかという分析がなされていない。集合学習、都市との交流学习を積極的に推進すると書いてあるがそれをどれだけ時間かけてどれだけやったかということを書いていない。計画の目標として

いるところを点検して達成されていないところを分析したのか。教育は端的にわかるんで申し上げた。少なくともプログラム数などを把握するぐらいはやってほしい。

5 その他

部会の合同開催については、スケジュール的に厳しいが、審議会や他の部会でも意見があったので、今後は検討してほしい。

基地について、離島過疎地域には空と海の演習場があり様々な問題があるのでは。21世紀ビジョンにも30年後には基地撤去とあるので言及しないとイケないのでは。別途、意見を提出したい。